



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

# 学校だより

令和4年11月1日  
東京都立羽村特別支援学校長  
外山 裕介

## 学校評価の御協力 ありがとうございました

少しでも多くの皆様の御意見を賜りたく、学校評価の締め切りを10月上旬まで延長させていただきました。回収率が昨年度の50%台から60%台までアップしました。皆様の御協力に感謝いたします。



学校評価は我々教職員にとっての通知表です。子供のころ、通知表を見るまでドキドキしたことを思い出します。良い評価もそうでない評価も励みとして、教職員一人一人が、それぞれの良さを出し合いながら、教育活動を進めてまいります。まだまだ、紙による回答をいただいていた頃に比較し、回収率は満足とは言えません。答えたくても学校の様子が分からないからおっしゃる方も多はずです。次年度は、様々な意思表示ができるよう評価形式を工夫していきます。



また、授業参観日におかれましては、様々な形で御参観いただきありがとうございました。皆様の御協力のお陰様で、安全に授業参観期間を終えることができました。



引き続き、保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## ゴルフをやっている方なら…

「4スタンス理論」という言葉を御存じでしょうか。おそらくゴルフスイングのコーチングで使われることが一番多いのではないかと思います。



この「4スタンス理論」が、子供たちの教育においても非常に大切な心構えになるのではないかと感じたので御紹介します。

### 4スタンス理論概要

- 人の身体のタイプは4つに分かれている
  - 誰もがそのいずれかのタイプに属している
  - それぞれのタイプごとに身体の使い方や動かし方に違いがある
  - 動作の練習にあたり、自分のタイプを知る
  - タイプに合った身体の使い方での練習をする
  - ※ タイプに合わない身体の使い方を防ぐ
- 自然な動きをする  
自然な動きは、一人一人違う  
自分にとって自然ではない動きでは上達しにくい

## 自分の身体の特徴に合った練習法

野球の例でいうと、王選手の一本足打法、イチロー選手は振り子打法、大谷選手もバッティングフォームはそれ

ぞれ全く違います。好きな選手の動作を目指しても、自分とタイプが違えば、上達どころか故障する可能性もあり、あるタイプの人には有効な動作も、違うタイプの人には有害な動作になってしまうのだそうです。

前述のゴルフでは、4つのタイプによって、その人に合ったクラブの持ち方、スイングの仕方や体重移動の方法など、違う練習法が用意されていました。

## 自分の特性に合った学び方

子供たちは「自分にあった学び方」をしなければいけません。目標が同じでも、学びの方法までもが同じではいけません。特別支援学校では、「目標」も一人一人に合わせであり、「指導の手だて」は一人一人違います。非常に大変なことなのですが、合っていない学び方を強制してしまうと、成長が妨げられてしまうばかりか、不適応を起してしまうこともあります。

「4スタンス理論」は4つに分けて、その人に合うやり方を提唱していましたが、羽村特別支援学校では、子供たち一人一人違うという心構えで教育活動を行っていきます。

## 生きた学習の場「地域貢献」

10月13日に羽村市動物公園の園長様に御挨拶に伺いました。目的は、羽村市動物公園を、本校の地域貢献(ボランティア活動)の場とさせていただくというお願いをするためでした。



落ち葉の清掃、草取り、慰霊碑の石組みや垣根の掃除、堆肥の袋詰め、モルモット小屋の掃除、シマウマの部屋の掃除、鯉の餌の袋詰め、猿の餌の袋詰め、お土産づくり、ベンチの清掃、柵の清掃、看板の清掃、フェンスのツタ取りなど、ボランティアや仕事体験としてできることがたくさんありました。まさに生きた学習の場であると共に、動物公園には、動物の飼育といった仕事だけでなく、様々な取り組みがあることもわかりました。



10月19日には羽村団地の自治会長さんが来校し、打ち合わせを行いました。花の苗の植え付け、水やり担当

など、重度・重複学級の児童・生徒が取り組めるような作業内容の提案をしていただきました。

学校だよりはHPIにもアップされています。将来的に、学校だよりのオンライン配布の可能性も考え、スマートフォンでも読めるよう文章を2段組みといたしました。感想等ございましたら、連絡帳等を通してお聞かせください。

(右上に続く)